

2012年6月25日

各 位

会 社 名 パナソニック株式会社
代表者名 取締役社長 大坪 文雄
(コード番号 6752 東証・大証・名証第一部)
問合せ先 財務・IRグループ
グループマネージャー 水野 省三
(TEL. 06-6908-1121)

テレビ／大型ディスプレイ向け次世代有機 EL パネルの共同開発合意について

本日、当社はテレビ／大型ディスプレイ向け次世代有機 EL パネルの共同開発合意について、添付のとおり発表しましたのでお知らせいたします。

以 上

2012年6月25日
ソニー株式会社
パナソニック株式会社

テレビ／大型ディスプレイ向け次世代有機ELパネルの共同開発で合意

ソニー株式会社（以下、ソニー）とパナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、2012年6月25日付で、テレビ／大型ディスプレイ向けの次世代有機ELパネルおよびモジュールを共同で開発する契約を締結しました。

両社は有機ELの製造において両社が有する基本技術および印刷技術を活用し、次世代の有機ELパネルおよびモジュールを共同で開発します。今回、共同開発を進める、印刷をベースとした次世代の有機EL技術は、大型かつ高精細の有機ELパネルおよびモジュールを、低コストで量産するのに適した技術です。両社は、それぞれが有する技術を持ち寄ることで開発効率を高め、2013年内の量産技術の確立を目指します。

ソニーは、2007年に世界初の11型有機ELテレビを発売しました。さらに、2011年には25型の業務用モニターを発売するなど、蒸着技術を用いた有機ELディスプレイの量産、商品展開に取り組んでまいりました。また、蒸着と印刷を組み合わせたハイブリッド有機EL素子のデバイス、プロセス（製造）技術や、有機EL駆動TFTについても酸化物TFTやフレキシブル有機TFTの開発成果を学会発表するなど、次世代有機EL技術の研究開発にも積極的に取り組んでいます。

パナソニックは、大型化・低コスト化に優位な印刷技術の中でも、最先端のオール印刷方式による大画面・高精細有機ELパネルの技術開発で先行しており、この方式による生産を実現するための独自の設備技術・生産技術を有しています。また、将来期待されている大画面・高画質のシート型ディスプレイを目指し、フレキシブル有機ELディスプレイの研究開発にも取り組んでおり、有機ELパネルの将来の可能性を追求しています。

今後両社は、有機ELパネルおよびモジュールの次世代技術の共同開発と並行して、量産フェーズでの協業の可能性についても検討してまいります。そして、それぞれの強みを活かして、高性能かつ競争力のある次世代の有機ELテレビおよび大型ディスプレイの開発・商品化に取り組んでまいります。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

ソニー株式会社 広報センター TEL 03-6748-2200

パナソニック株式会社 広報グループ TEL 06-6908-0447（大阪）／03-3436-2621（東京）